

2020年11月度 競技・ハンディキャップ委員会 議事録

参加委員 赤岡委員長・増田委員・伊東委員・井出委員・丸山委員
事務局 樋口 越賀 山王

1 赤岡委員長ご挨拶

2 来年度クラブ対抗選手決定方法

改めて別紙決定法確認。

選手選考会開催における問題点提起

男子：シニアチャンピオンはAクラス選手で確定。

クラブチャンピオン山本氏はBクラス選手で確定。

それ以外の各クラス3名の選手選考法は、

3月7日（日）月例競技会の最終組で別枠にて実施

3月28日（日）選手選考競技会

4月4日（日）月例競技会の最終組で別枠にて実施

上記3競技会のグロススコア上位2スコアの合計で決定する。

なお、同グロスの場合は、選考基準スコアの上位順にて決定する。

※Bクラス選考対象者は黒ティ使用。

3 2021年競技規則案・競技日程案の件

基本的には本年同様の内容。

主な修正点

- ・競技参加費にプラス100円頂戴すること。

この100円ですが、山梨県ゴルフ連盟の運営資金として寄付させていただき、円滑な連盟運営に役立てていただく予定。

（現在連盟の財政はひっ迫しており、このままでは運営が維持できず結果連盟主催競技が消滅する可能性が出てきます。当倶楽部の会員の多くがこういった競技会への参加をされており、多くの会員の競技機会を創出させるためにも必要な案件となっております。）

全会一致で承認。競技規則案にゴルフ振興協力金について記載することとなった。

- ・第14条として罰則規定を設ける。

昨今競技会においてモラルを守らない会員が目立つ。競技委員会としてきちんと指導するにあたり、注意勧告に対し改善姿勢を持たない会員に対して罰則規定を設けるべきという起案がな

され全会一致で承認された。

これに合わせ、今回の月例競技会においてボールを動かすというクレームがあった会員の報告が行われた。まずは該当会員に対し事務局より注意勧告を行い、改善が見られないようであれば14条に基づき罰則を決定することとした。

・マッチプレー選手権の開催も起案されたが、来年度は日本シニアオープン開催もあるため競技会日程が非常にタイトであることから再来年から再開を検討したいという意見で決定した。

4 定期調整

別紙参照

5 前回指摘事項

※○は委員意見・●は事務局見解

○No16のバックティの位置が悪いとグリーンやカップがティから見えない。

●意見収集後改善済み（担当山王プロ）

○No5人工芝ティ。砂が少なくなってきたので滑りが悪く手首を痛める

●定期的にゴムチップの補充を行わせております。コース課へ焼砂を入れるよう指示を出します。

○No7バックティ。今後の使用予定は？

●現状手が回っていない。申し訳ございませんが一旦はプレーゾーンに集中した管理をさせていただきます。落ちていたところで管理を再開させていただきます。

○ショートHのティに簡易目砂箱を置いてはどうか

●実施済み。

○No2のコース内のマンホール。修理地扱いだったが大丈夫と思い乗ったところ陥没した。危ないのでもっと嚴重に入れないようにすることと、他もチェックすべき。

●実施済み

7 立ち合い日程

1月増田委員・2月井出委員・3月伊東委員（3月が競技委員会。）

6 その他

※○は委員意見・●は事務局見解

○アイスの棒のごみが多い。

●売店のアイスは棒なしのみに変更します。（担当瀬戸）

○No5人工芝ティ。砂が少なくなってきたので滑りが悪く手首を痛める

●焼き砂の散布も実施します。（担当萩原）

○月例の組み合わせ。HDCPが多い方は分散してほしい。また、各組で一番ローハンディの

方にはハイハンディの方へのルール・モラル啓蒙を行ってほしい。

●組み合わせは再度注意し実施します。また、スタートの際にローハンディの方へ上記啓蒙を行うよう案内します。(担当越賀・山王)

○乗り入れカートのモラルと雨の日の運用ルールを見直すべき。

●乗り入れカートの同意書の修正と改善案の検討を行います。また、コース状態を見つつ、なるべく状態の悪い日は乗り入れ無い様にルールを改善します。(担当山王・越賀・萩原)

○アプローチグリーンの手前側でアプローチを行う方が目立つ。危ないのでルール化すべき。

●アプローチグリーンセンターをローピングし、手前はパッティングのみとするように表示変更します。また、マスター室でもきちんと案内するよう啓蒙します。(担当萩原・瀬戸)

○No15Hのカート道。どうにかならないか？

●弊社キーパーと再度軽減する案を検討します。(担当樋口・口分田・萩原)

○目土用スコップが園芸用で使いにくい

●本日 50 本注文入れます。(担当越賀)

○ロングホールの残り 100Y に砂の入ったバケツが欲しい。

●弊社キーパーと検討します。(担当樋口・口分田・萩原)

○マスター室のオペレーション(雑巾がないなど)、レストランのミスオーダーといったヒューマンエラーが多すぎる。

●本件、担当各部署へ配信し、オペレーションを見直させます。(担当樋口・齊木・瀬戸)

○当倶楽部会員の中に、他コース開催の競技会において、「ボールマークと違う位置に何度もボールを置くなどの悪質なルール違反を行う」「競技委員に対して暴言を吐く」「競技会出場停止処分を受けている」といった報告が入っている。そのように対応するか？

○委員総意の見解として、会員・事務局より自コース内において上記事案ないしそれに該当するような行為が当委員会へ報告されるようであれば速やかに協議し、会則に基づき処分等決定することとした。

○平日杯について。ルールがあいまいというか競技委員会にて決定したルールが全く運用されておらず競技会の体はなしていない。

○委員総意の見解として、きちんと平日杯は運用ルールを守るべきということで決定。2021年の平日杯より独自ルールは撤廃とする。また、立ち合いを行う深澤プロには交代を含め事務局の運用を見直すよう指導した。